

## 2015年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト

■前年同期比で増収増益。通期見通しに対する進捗も順調。

◇売上高	8,237 億円	0.6% 増収
◇営業利益	155 億円	12.6% 増益
◇経常利益	155 億円	9.4% 増益
◇四半期純利益	95 億円	11.5% 増益

損益の状況						
(単位:億円)	2015/3期 第3四半期実績		前年同期比		2015/3期 通期	
	2014/3期 第3四半期実績	2015/3期 第3四半期実績	増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	8,188	8,237	49	0.6%	11,500	71.6%
売上総利益	627	654	27	4.2%	-	-
販売費・一般管理費	489	499	9	1.9%	-	-
営業利益	138	155	17	12.6%	220	70.5%
受取配当金	8	7	△0	-	-	-
利息収支	△22	△20	2	-	-	-
持分法損益	3	8	5	-	-	-
為替差損益	19	8	△11	-	-	-
その他	△4	△4	1	-	-	-
営業外収支	4	△0	△4	-	-	-
経常利益	142	155	13	9.4%	205	75.5%
特別損益	△1	10	10	-	-	-
税金等調整前四半期純利益	141	164	24	16.8%	-	-
法人税等及び少数株主利益	56	70	14	-	-	-
四半期純利益	85	95	10	11.5%	110	86.1%

【売上高】  
鉄鋼・素材・プラントセグメントおよび車両・航空セグメントの増収を中心に、全体では49億円の増収。

【営業利益】  
電子・デバイスセグメントおよび車両・航空セグメントが全般的に好調であったため、17億円の増益。

【経常利益】  
営業利益の増加に伴い、13億円の増益。

【四半期純利益】  
経常利益の増加に加えて、兼松日産農林の連結子会社化に伴う特別利益もあり、10億円の増益。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位:億円)	2014/3末		2014/12末	
	2014/3末	2014/12末	増減	増減率
総資産	4,285	4,583	298	7.0%
グロス有利子負債	1,419	1,391	△28	△2.0%
ネット有利子負債	680	775	94	13.9%
株主資本	907	977	71	7.8%
その他の包括利益累計額	△190	△119	71	-
少数株主持分	245	281	35	14.4%
純資産合計	962	1,139	177	18.4%
自己資本(注1)	717	858	141	19.8%
自己資本比率(注2)	16.7%	18.7%	2.0pt改善	-
ネットDER(注3)	0.9倍	0.9倍	-	-

【有利子負債】  
グロス有利子負債は28億円減少。  
ネット有利子負債は94億円増加。

【純資産】  
四半期純利益による利益剰余金の積上げや為替相場の変動による為替換算調整勘定の良化等により、177億円増加。  
純資産から少数株主持分を除いた自己資本は141億円増加。

上記の結果、自己資本比率は18.7%に改善。  
ネットDERは0.9倍。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況			配当の状況	
(単位:億円)	2014/3期 第3四半期	2015/3期 第3四半期	2015/3期	
	営業活動によるCF	124	△51	中間配当
投資活動によるCF	△10	△40	期末配当(予想)	1株当たり 1.5 円
フリーキャッシュフロー	115	△92	年間配当(予想)	1株当たり 4.0 円
財務活動によるCF	△77	△60	※ 中間配当の内訳: 普通配当 1.5 円 記念配当 1.0 円	
換算差額	15	22		
現金・現金同等物の増減	53	△130		

【営業活動によるCF】  
営業利益の積上げの一方で、たな卸資産の増加等により51億円のキャッシュ・アウト。

【投資活動によるCF】  
有形固定資産の取得等により40億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるCF】  
借入金の返済等により60億円のキャッシュ・アウト。

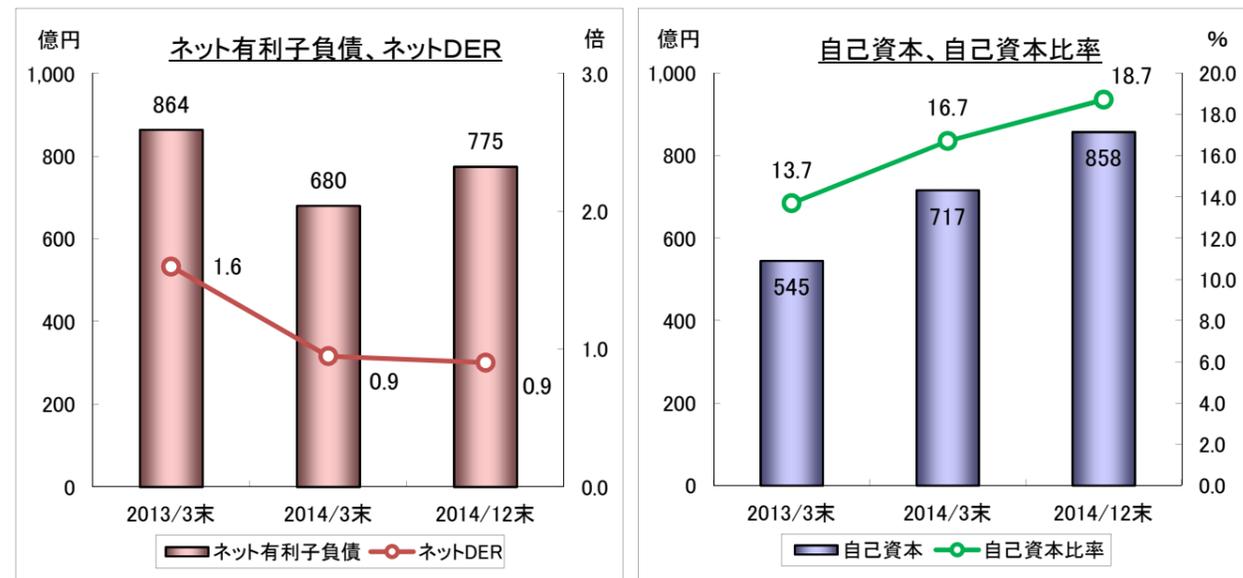
セグメント情報						
(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2014/3期 第3四半期	2015/3期 第3四半期	前年同期比 増減	2014/3期 第3四半期	2015/3期 第3四半期	前年同期比 増減
電子・デバイス	1,940	1,943	3	45	55	10
食料	2,361	2,336	△25	21	28	6
鉄鋼・素材・プラント	3,429	3,474	45	56	48	△8
車両・航空	416	462	47	12	22	10
報告セグメント合計	8,146	8,216	71	135	153	18
その他(含む調整額)	43	21	△22	3	2	△0
総合計	8,188	8,237	49	138	155	17

【電子・デバイス】増収増益  
電子機器・電子材料事業ならびに半導体部品事業は、市場拡大に伴う車載用電子材料・部品ビジネスの伸長に加えて、底堅い米国景気や携帯端末の新機種増産も追い風となり、好調。  
ICT・モバイルソリューション事業は、モバイル事業における事業基盤の拡充が奏功し、堅調に推移。

【食料】減収増益  
畜産事業は、需要増および相場の堅調推移を受け、全般的に好調。  
食糧事業は、穀物取引、飼料取引ともに順調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】増収減益  
プラント事業は、東南アジアにおけるプラントインフラ取引が好調。  
鉄鋼事業は、欧米向けの自動車用特殊鋼取引が堅調に推移した一方、主力の油井管事業では需要の弱さが見受けられた。  
エネルギー事業は、夏場の需要減や足元の原油価格急落が影響して苦戦。

【車両・航空】増収増益  
航空・宇宙事業は、航空機部品取引が順調。車両・車載部品事業は、欧米・アジア向け二輪・四輪車用部品取引を中心に、全般的に堅調に推移。



\*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
\*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。